

競 技 方 法

(第43回緑区レクリエーションインディアカ大会)

- 1 競技中のマスクの着用は、各自の判断とする。
- 2 審判団は、主審とスコアラーであることから、判定は主審を第一義とする。
- 3 試合は、15点先取3セットマッチとする。
ただし、3セット目は8点先取とする。
- 4 羽球がサーバーの手を離れるまでは、ローテーションポジションを維持する。
ただし、リーグ戦とすることから、混合の部と女子の部が試合を行う場合は、混合の部は、ローテーションポジションとする。
- 5 試合のないチームが交代で主審・スコアラーを担当する。
- 6 作戦タイムは、主将または監督の要求により1セット1回限り（30秒以内）とることができる。
- 7 けが等により3名になったチームは、そのセットを失う。
- 8 選手交代は、主将または監督の要求により随時とることができる。
ただし、交替してベンチへ戻った競技者は、そのセットにおいて再度競技することができない。（けが等による場合は除く）
- 9 試合前の公式練習は、2分間とする。ただし、各チーム初戦のみとする。
- 10 試合は、本部席の合図により開催する。
試合の進行に支障をきたさないように、選手・審判・スコアラーは、定められたコートで準備する。
- 11 主審は、試合終了後、直ちに得点記録用紙を本部席へ提出する。
- 12 その他については、原則として名古屋市レクリエーションインディアカ令和8年度規則に準ずる。